

【キャンプ場が隣接する市民農園】～ 佐賀県唐津市 ～

1 市民農園名

おいでな菜園(唐津市七山滝川 ^{あまみず} 天水地区)

2 地区の概要

七山は唐津市東部の山間地域で、福岡県との県境に位置し、天水地区はその中央部にある。米、ミカン、施設野菜栽培が中心であるが、価格下落に伴いミカン栽培面積は下降している。

近隣には、九州の尾瀬沼と言われる「檜原湿原」や日本の滝百選に選ばれている「観音の滝」がある。



3 市民農園開設の経緯

平成4年に七山の総合グラウンド建設計画が策定された。工事には切り土作業が必要で、これに伴って発生する13万㎡の残土置き場の選定が検討されていた。このような折り、天水地区の谷間に残土を搬入し圃場整備とクラインガルテンの建設を行うという唐津市(旧七山村)の勧めもあり、天水地区で柑橘農園(吉原農園)を経営し、県の親林交流指導員でもあった吉原久之氏が、近隣の6世帯にこの計画を説明し同意を得た。工事主である唐津市(旧七山村)とも調整が終わり、平成5年には圃場整備が始まり、平成6年にはログハウス等の建築物を含む工事が完了した。平成7年には市民農園開設に至り、開設に伴っておいでな菜園が設立され、市民農園の管理主体となった(平成18年に法人化し、(有)おいでな菜園となる)。

工事に際しては日本初のクラインガルテンである群馬県倉縁村のクラインガルテン(日本初のクラインガルテン)を視察する等、良好な市民農園となる



取材に応じていただいた
吉原社長

よう、多くの努力があった。

開設初期のころは、電気施設に詳しい者が農園の近くに常駐してトラブル対応するなど、苦勞も多かった。

4 施設概要

- 所在地 唐津市七山滝川403-1
- 施設総面積 38,930㎡
- 区画面積 1区画当たり 53㎡
- 日帰り型農園
区画数 15区画
利用料金 16,200円(税別)/年間
- 滞在型農園(宿泊施設付)
区画数 7区画
利用料金 500,000円(税別)/年間
- その他



ネギの栽培区画

滞在型農園に付設される宿泊施設をはじめとして、簡易宿泊施設、トイレ、農機具倉庫、駐車場等、必要な施設は完備している。
契約期間1年(更新可能)。

5 管理・運営等

管理運営主体：(有)おいでな菜園

6 農園の特徴

- 吉原氏の方針として、減農薬栽培を指導している。ただし、農薬使用を利用者に制限する代わりに、自ら作成した木酢液や竹酢液を利用者の防除用に無料で配布している。また、肥料用としてEM肥料(微生物を利用した配合肥料)を吉原氏自らが作り、利用者に販売している。利用者からは普通の肥料よりも収穫量が増えたり、安全安心など好評を得ている。
- 草刈り等の管理や利用者からの農作業相談には、普段事務所に詰めている職員が対応している。職員が対応できない場合は吉原氏が対応している。
- おいでな菜園独自で栽培の手引きを作成し、利用者に配布している。
- 吉原氏自らが、景観向上のために農園近隣の山に紅葉を、近隣の道路沿いには「おかめ桜」を定植するなど、農園のみならず近隣の地区への来訪者確保に配慮されている。
- 園内にはオートキャンプ場やバーベキューハウス、釣り堀などが設置され、農園利用と併せてレジャーも楽しむことが出来るなど、都市農村交流

にも繋がるよう配慮されている。



バーベキューハウス



園内の遊具



利用者に配布される栽培マニュアル



釣り堀で釣りを楽しめる

7 イベント・交流活動等

毎年4月の第1日曜日に菜園交流会が開催され、契約更新手続き等の説明と併せてイノシシ汁が振るまわれるなど、交流促進が図られている。

8 施設設置効果

農園利用を通じて、利用者と地元居住者との交流が深まるケースがよくあり、都市農村交流促進の役目を担っている。

9 今後の課題・問題点等

- 1区画毎に水道を設置してほしいとの声がある。ただし、経費的な面、トラブル面(利用者の水道栓の閉め忘れ等)、冬期の水道管破裂等の懸念から対応は困難な状況である。
- 法人構成員の5世帯とも高齢化しており、農園管理の後継者確保が課題である。
- 近年空き区画が出てきた。利用者募集を農園ホームページや近隣の直売書掲示板で応募をかけているが、有効な応募の仕方が検討されている。

【問い合わせ先】

(有)おいでな菜園 電話 0955-70-7010

<http://web.people-i.ne.jp/~camp7yama/>